



社会貢献支援財団、 「平成21年度社会貢献者表彰」の 受賞者を発表

人命救助の功績など三分野48件に対し、日本財団賞を贈呈

社会貢献支援財団（会長 日下公人）は、「平成21年度（第39回）社会貢献者表彰」の受賞者を発表した。

同財団は日本財団の助成を受け、社会の各分野で顕著な功績を挙げながら、社会的に報われる機会の少ない方を対象に、昭和46(1971)年以来、毎年秋に社会貢献者表彰を行っており、昨年までの表彰件数累計は、1万1千7百件以上に上っている。

5月31日までに寄せられた168件の推薦の中から選考の結果、1.「人命救助の功績」11件、2.「社会貢献の功績」34件、「特定分野の功績」3件、合計48件を表彰することとなった。受賞者には夫々『日本財団賞』として副賞50万円が贈られる。

なお、表彰式典は11月24日（火）にANAインターコンチネンタルホテル東京(旧全日空ホテル)で行われる。

「平成21年度社会貢献者表彰」の概要

*候補 : 168件

*受賞 : 48件

受賞内訳

- ・人命救助の功績 : 11件(17名) / 日本財団賞 (副賞50万円)
- ・社会貢献の功績 : 34件(24名11団体) / 日本財団賞 (副賞50万円)
- ・特定分野の功績 : 3件(2名1団体) 海の貢献賞 / 日本財団賞 (副賞50万円)

功績区分の内容

1. 人命救助の功績

- ・海難・水難、交通事故、遭難等に際し、身命の危険を冒して救助・救援に尽くされた功績
- ・犯罪等の発生に際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績
- ・災害・事故・犯罪の発生を未然に防いだ功績

2. 社会貢献の功績

- ・精神的・肉体的な著しい労苦、危険、劣悪な状況に耐え、他に尽くされた功績
- ・困難な状況の中で黙々と努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績
- ・先駆性、独自性、模範性などを備えた活動により、社会に尽くされた功績

3. 特定分野の功績

『海の貢献賞』

- ・海の安全確保、環境保護、汚染防止等に尽くされた功績
- ・海に関わる産業分野において
 - 傑出した技能による同分野への貢献と技能の伝承に尽くされた功績
 - 優れた発明・考案・改良等により同分野の発展に尽くされた功績
- ・海に関わる文化の発展・保存・伝承等に貢献された功績

表彰選考委員

- 委員長 塩 川 正十郎 (元財務大臣)
 内 館 牧 子 (脚本家)
 大 武 健一郎 (大塚ホールディングス株式会社 代表取締役副会長)
 山 根 基 世 (元NHKアナウンサー)
 米 長 邦 雄 (社団法人 日本将棋連盟 会長)
 吉 永 みち子 (作家)

報道関係のお問い合わせ先

社会貢献支援財団 <http://www.fesco.or.jp/>

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル2階
 TEL : 03-3502-0910
 FAX : 03-3502-7190
 E-mail: fesco@mve.biglobe.ne.jp

平成21年度 表彰受賞者 (計48件)

【 人命救助の功績 】 11件 (17名) (敬称略)

番号	受賞者名	年齢	都道府県	備考
1	光田 太一	14 歳	香川県さぬき市	
2	宮崎 大治	53 歳	佐賀県唐津市	
	原 二三夫	58 歳	佐賀県唐津市	
	宗田 征男	68 歳	佐賀県唐津市	
3	大倉 政志	53 歳	新潟県新発田市	
4	水野 雅	19 歳	富山県下新川郡	
5	湯浅 洋	55 歳	東京都江東区	
6	長井 奈緒美	31 歳	栃木県下野市	
7	故 仙名 清次郎	57 歳	長野県東筑摩郡	
8	石上 悦二	58 歳	静岡県静岡市	
	小林 久光	49 歳	静岡県静岡市	
	加藤 芳則	39 歳	静岡県静岡市	
9	草場 大吾	32 歳	滋賀県彦根市	
10	佐藤 純也	35 歳	鳥取県米子市	
	亀田 保志	44 歳	鳥取県米子市	
	大井 真栄	73 歳	鳥取県米子市	
11	向井 豊道	60 歳	山口県岩国市	

【 社会貢献の功績 】

34件（個人24名団体11件）

番号	受賞者名	年齢	都道府県	備考
12	吉原 和子	65 歳	山口県熊毛郡	
13	坂岡 嘉代子	63 歳	福井県越前市	
14	ボランティアグループ すずの会	—	神奈川県川崎市	
15	長岡音声訳の会	—	新潟県長岡市	
16	山本 忠利	69 歳	神奈川県川崎市	
17	高良 道子	77 歳	沖縄県国頭郡	
18	鎌倉手をつなぐ育成会	—	神奈川県鎌倉市	
19	北飛山岳救助隊	—	岐阜県高山市	
20	井柳 学	70 歳	東京都港区	
21	東海大学 緑の会	—	熊本県阿蘇郡	
22	特定非営利活動法人 KIDS	—	東京都渋谷区	
23	池田 廣枝	71 歳	山口県宇部市	
24	吉田 三千代	60 歳	北海道札幌市	
25	竹内 龍幸	81 歳	静岡県浜松市	
26	秋山 正子	59 歳	東京都新宿区	
27	大谷 弘	75 歳	神奈川県伊勢原市	
28	柳川 幸子	77 歳	千葉県船橋市	
29	高橋 勇喜	68 歳	宮城県登米市	
30	苗村 登美子	68 歳	大阪府堺市	
31	佐久間 容子	56 歳	長崎県諫早市	
32	あいあい教室	—	京都府京都市	
33	新垣 光子	65 歳	沖縄県那覇市	
34	青木 陽子	47 歳	埼玉県さいたま市	
35	川野 楠己	79 歳	神奈川県横浜市	
36	難民を助ける会	—	東京都品川区	
37	特定非営利活動法人 子供地球基金	—	東京都渋谷区	
38	Reinhardt Howeler (リンハート・ハウラー)	67 歳	アメリカ合衆国	
	河野 和男	68 歳	大阪府茨木市	
39	特定非営利活動法人 ミランクラブジャパン	—	埼玉県さいたま市	
40	添田 裕吉	88 歳	福岡県北九州市	
41	須藤 昭子	82 歳	ハイチ共和国	
42	名取 美和	63 歳	タイ王国	
43	中村 寛子	72 歳	コンゴ民主共和国	
44	Zomahoun (ゾマホン)	45 歳	東京都中野区	
45	特定非営利活動法人 バングラデシュと手をつなぐ会	—	福岡県福岡市	

【 特定分野の功績「海の貢献賞」 】

3件（2名1団体）

番号	受賞者名	年齢	都道府県	備考
46	鈴木 諭	60 歳	香川県坂出市	
47	直嶋 正三	60 歳	岡山県美作市	
48	特定非営利活動法人 はかた夢松原の会	—	福岡県福岡市	

※受賞者の年齢は式典開催日平成21年11月24日時点の年齢

受賞者のプロフィール[48件・敬称略]

1. 人命救助の功績・日本財団賞 11件 (17名)

- ・海難・水難・交通事故、遭難等に際し、身命の危機を冒して救助・救援に尽くされた功績
- ・犯罪等の発生に際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績
- ・災害・事故・犯罪の発生を未然に防いだ功績

みつだ たいち
光田 太一

(14歳／香川県さぬき市)

平成20年8月2日の午後7時30分頃、海岸をランニング中に海で溺れている男子中学生(14歳)と男性(31歳)を発見した。近くにいた子ども会の父兄から借りたペットボトルいかだを持って潮の流れの速い海に飛び込み、50メートル程泳いで2人をいかだにつかまらせて救助した。

推薦者／さぬき市

みやざき だいち
宮崎 大治

(53歳／佐賀県唐津市)

はら ふみお
原 二三夫

(58歳／佐賀県唐津市)

そうた けいお
宗田 征夫

(68歳／佐賀県唐津市)

平成21年2月25日午後3時45分頃、唐津市平山川添橋付近で、ミニバイクを運転していた女性(56歳)が、右折するために停車したワゴン車の左後部に追突した衝撃で平山川へ転落しうつ伏せ状態で流されていくのを発見した。救急車が到着するまでの間、固定したロープを使うなどして冷たい川に入り女性を救助した。

推薦者／唐津市

おおくら まさし
大倉 政志

(53歳／新潟県新発田市)

平成20年4月10日午後4時頃、新潟市北区の新井郷川(幅40メートル、水深3~4メートル)の土手沿いを自動二輪車で走行中に、小学生が同川で溺れ流されて行くのを発見した。カッパの上下と長靴を着用のまま川に飛び込み救助した。

推薦者／財団法人 通信協会

みずの まさし
水野 雅

(19歳／富山県下新川郡)

平成21年3月25日午後2時40分頃、富山県朝日町の増水し流れの速い用水で、杉の枝打ち作業をしていた男性(76歳)が、作業中に流され用水に架かる鋼材にしがみついていたところを、用水に入り救助した。またこの男性を助けようとして、流されそうになっていた男性も、安全な場所へ移動させた。

推薦者／朝日町

ゆあき ひろし
湯浅 洋

(55歳／東京都江東区)

平成20年6月8日午後0時33分頃、千代田区外神田で発生し7人の命が奪われた秋葉原無差別殺傷事件の現場にタクシーを運転中に居合せた。被疑者の車両が歩行者を跳ね飛ばすのを目撃したため、被害者の救護に当たっていたところ、走って来た被疑者に右下脇腹をナイフで刺され重傷を負った。

推薦者／財団法人 警察協会

ながい なおみ
長井 奈緒美

(31歳／栃木県下野市)

平成20年6月8日午後0時33分頃、千代田区外神田で発生し7人の命が奪われた秋葉原無差別殺傷事件の現場に買物の途中に居合せた。被疑者の車に跳ねられた被害者の救護に当たったが、走って来た被疑者に右下腹部をナイフで刺され重傷を負った。

推薦者／財団法人 警察協会

故 仙名 清次郎

(享年 57 歳／長野県東筑摩郡)

平成 20 年 4 月 12 日午前 10 時 45 分頃、長野県木曾郡の西野川で、魚釣りをしていた一家 3 名の内父親 (48 歳) と男児 (9 歳) が河川に流されているのを発見した。親子を救助しようと川へ入ったが、一緒に流され男児とともに命を落とした。

推薦者／全国消防長会

石上 悦二

(58 歳／静岡県静岡市)

小林 久光

(49 歳／静岡県静岡市)

加藤 芳則

(39 歳／静岡県静岡市)

平成 20 年 7 月 1 日 13 時 37 分頃、静岡市葵区の牧川でゴミ収集車に乗り信号待ちをしていたところ、うつ伏せで流されていく男性 (65 歳) を発見した。すぐに 119 番通報し、前日の雨で増水した川に入って男性を救助するとともに救急車が到着するまで、心臓マッサージや人工呼吸などの救命措置を施した。

推薦者／全国消防長会

草場 大吾

(32 歳／滋賀県彦根市)

平成 20 年 11 月 26 日 1 時 39 分頃、彦根市で発生した建物火災で、119 番通報するとともに自宅から持参した消火器で初期消火を試みたが火勢が強くなり消火はできなかった。建物内に寝たきりの 70 代の男性が取り残されていることを聞き、煙が充満した暗い室内に飛び込み手探り状態の中で男性を見つけ救出した。

推薦者／全国消防長会

佐藤 純也

(35 歳／鳥取県米子市)

亀田 保志

(44 歳／鳥取県米子市)

大井 真栄

(73 歳／鳥取県米子市)

平成 20 年 10 月 4 日午後 3 時 43 分、米子市の皆生漁港内で、釣りをしていて意識を失い転落したとみられる男性 (64 歳) を発見した。3 名はたまたま現場に居合せ、海中からの援助、救急車の要請、人工呼吸など救命措置を施し、男性を救助した。

推薦者／全国消防長会

向井 豊道

(60 歳／山口県岩国市)

平成 20 年 4 月 4 日午後 4 時 25 分頃、岩国市で、近所の建物から黒煙が噴出しているのを発見した。すぐに役場消防に通報した後、建物へ駆けつけ建物に飛び込み目と耳が不自由な老夫婦 (93 歳、78 歳) を救出した後、延焼防止のため台所南側にあったガスボンベ 2 本を搬出した。

推薦者／全国消防長会

2. 社会貢献の功績・日本財団賞 34 件 (24 名 11 団体)

- ・精神的・肉体的な著しい労苦、危険、劣悪な状況に耐え、他に尽くされた功績
- ・困難な状況の中で黙々と努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績
- ・先駆性、独自性、模範性などを備えた活動により、社会に尽くされた功績

吉原 和子

(65 歳／山口県熊毛郡)

地元の老人クラブが不要紙を用いて封筒を作り、行政に寄贈していることを知り、視覚障害者である自分にも出来るのではないかと思い封筒づくりを始め、社会福祉協議会や地域の工務店や商店などに 20 年以上にわたり毎年約 2,000 枚の封筒を贈り続けられている。

推薦者／社会福祉法人 平生町社会福祉協議会

坂岡 嘉代子

(63 歳／福井県越前市)

昭和 63 年に聴覚障害者、非行少年のための太鼓グループを結成しプロデビューさせた後、平成 2 年に親子の駆け込み寺「はぐるまの家」を開設し、非行、不登校、家庭内暴力などを受けた子どもたちを受け入れ、和太鼓を教え、太鼓を通じて社会の人達との関わりを持たせ 400 人余りを更生させている。

推薦者／特定非営利活動法人 国際エンゼル協会 東村 真理子

ボランティアグループ すずの会

(神奈川県川崎市)

平成 7 年に在宅介護の経験者である代表者とサポートした 5 人の女性達を中心に設立された NPO 団体。主婦の持つ生活感覚と地域の持つ様々なネットワークを豊かに生かしながら、男性介護者の支援プログラムを作ったり、研修活動を積み重ねた成果を出版して公開し共有化したり、現在 59 名のメンバーで年間 600 回を超えて直接出向くなど在宅介護のボランティアを続けられている。

推薦者／山崎 美貴子

長岡音声訳の会

(新潟県長岡市)

昭和 52 年に新潟県長岡市で朗読奉仕会として発足し、以後地域の視覚障害者に向け、ボランティア会員の音声訳による市政だよりや地元新聞など、30 年にわたる情報提供を続けられている。平成 18 年には録音情報のデジタル化を踏まえ、県内初となる CD 版の「声の市政だより」を発行し、近隣市町村の活動にも影響を与えている。現在、会員は 48 名である。

推薦者／新潟県

山本 忠利

(69 歳／神奈川県川崎市)

川崎市で和太鼓少年団（平均小学生 40 名、中学生 10 名）を結成し、30 年に渡り指導を続けている。少年団で和太鼓を習い成長した青年達による和太鼓集団も生まれ、舞台公演もするようになった。地域性が失われつつある世の中に、和太鼓を通じ新しい隣組、新しい集落づくりと子どもたちの健全な成長を願い活動を続けられている。

推薦者／片岡 敏雄

高良 道子

(77 歳／沖縄県国頭郡)

昭和 29 年に看護学校を卒業し、以来沖縄県でハンセン病や結核、母子保健、重症心身障害児の福祉向上など、交通事情も悪く、病院もない県北部地域で昼夜なく介護、医療ケアサービスに尽力した。また保健所を退職後、看護婦、家政婦紹介所の設立やヘルパーの養成に貢献するなど、50 年以上にわたり活動が続けられている。

推薦者／社団法人 沖縄看護協会

鎌倉市手をつなぐ育成会

(神奈川県鎌倉市)

昭和 29 年に知的障害児の親たちが、子どもの将来に向けて社会整備を願い、知的障害児の存在を知ってもらい、障害者の福祉の向上につながれば、との思いで結成した。その後、市内の 4 つの小中学校に特殊学級が実現、幼児生活訓練会の発足、県立養護学校に精神薄弱児学級が設置されるなど、50 年にわたり活動が続けられている。現在会員は、100 家族程である。

推薦者／社会福祉法人 鎌倉市社会福祉協議会

北飛山岳救助隊

(岐阜県高山市)

戦後における登山ブームの高まりによって、多発するようになった遭難事故に対応するため昭和 34 年に民間の山岳救助隊として結成された。北アルプスの岐阜県側を中心に発足から 50 年間にわたり、704 件の遭難事故に出動、1,193 人の遭難者を救助するとともに登山者の遭難事故防止活動を続けられている。現在、隊員は 35 名程である。

推薦者／高山市

井柳 学

(70 歳／東京都港区)

港区虎ノ門一丁目周辺を、夕方に清掃活動を行っていたが、その後地元町会の依頼により、地下鉄終電後から始発までの約 4 時間半にわたり清掃活動をしながらか地域の防犯パトロールも行うボランティア活動をほとんど毎日 30 年にわたり続けられている。

推薦者／虎ノ門一丁目琴平町会

東海大学 緑の会

(熊本県阿蘇郡)

熊本県菊陽町の「鉄砲小路」の生垣の美しい環境を残そうと鉄砲小路地区の住民と共同で生垣の選定や植え替え活動を始めた。以来 27 年間も続いている活動で、当初は 1km 程度だった生垣は活動によって現在約 4km になっている。生垣は防災や景観だけでなく住民同士のつながりも作っている。

推薦者／菊陽町

特定非営利活動法人 KIDS

(東京都渋谷区)

知的発達に遅れのある子どもたちの施設で開催された運動会にボランティアとして参加した日米欧の社会人約 10 名によって平成 4 年に設立された NPO である。“Knowing is doing something”「やってみればわかる」という理念のもとで、子どもたち、ボランティア、企業をつなぎ 17 年間約 25,000 人の知的障害児と 2,500 人に活動の場を提供するなどの活動を続けられている。

推薦者／特定非営利活動法人 日本ソーシャルマイノリティ協会

池田 廣枝

(71 歳／山口県宇部市)

昭和 52 年から 31 年にわたり、経済的に苦しい家庭の子どもで中学校へ入学する生徒へ年間 15 着程の学生服を贈る運動を続けられている。また月に 1 回程重度の心身障害児施設や老人保健施設への訪問や独居老人宅を訪問する活動も続けられている。

推薦者／社会福祉法人 宇部市社会福祉協議会

吉田 三千代

(60 歳／北海道札幌市)

札幌市に本部を置く NPO「飛んでけ！車いすの会」で、国内の余剰な車いすを東南アジアや中南米、アフリカなどへ旅行に行く人に「ついでに」運んでもらう配送ボランティアのシステムを作り上げた。10 年以上にわたり 1,700 台を超える車いすを 1 台 1 台手渡しする活動として続けられている。

推薦者／樽見 弘紀

竹内 龍幸

(81 歳／静岡県浜松市)

昭和 24 年に浜松の盲学校に赴任して以来、勤務後 60 年にわたり点字翻訳（点訳）の作業に取り組み続け、「学習大百科辞典」53 巻や「医学大辞典」49 巻など気の遠くなるような大作の点訳を行なった。点訳は原本から点訳用紙、製本まですべて自費で賄っている。また自宅近くの公園で朝のラジオ体操と公園の清掃活動も地域の住民と 50 年間続けられている。

推薦者／斯波 千秋

秋山 正子

(59 歳／東京都新宿区)

看護師であり、治療効果の望めないがんを患い在宅療養していた姉の言葉が支えとなって、在宅ケアの先駆的な活動をしていた組織で訪問看護に携わった。以来 17 年間在宅緩和ケアのスペシャリストとして活躍されている。平成 18 年度には NPO を設立し、在宅ケアを支える地域の力となるボランティアの育成にも力を注がれている。

推薦者／市原 美穂

大谷 弘

(75 歳／神奈川県伊勢原市)

知的障害を持つ子やその親が農作業を通じた自立を目的とする「社会福祉法人・さくらの家福祉農園」（通所 22 人）の設立から農園や家の建設、農作物の販売そして法人資格の取得まで、自分の所有する土地の提供にはじまり行政と交渉し実現を図るなど 20 年にわたる知的障害者の支援活動を続けられている。

推薦者／社会福祉法人 さくらの家福祉農園

やながわ きちこ
柳川 幸子

(77 歳／千葉県船橋市)

自身も 15 年前に交通事故が原因で中途失明した視覚障害者で、一時は生きる希望を失いそうになったが、何か人の役に立ちたいと考え、12 年前から視覚障害者などの障害者と地域住民が交流できる講演会、音楽会、落語会、合唱会、料理会などのサロンを自宅で開催するなど障害者の支援活動が続けられている。

推薦者／船橋市

たかはし ゆうき
高橋 勇喜

(68 歳／宮城県登米市)

昭和 55 年頃にゲートボールを社会体育の一つと捉え、競技の普及に努めていた。地元のハンセン病の国立療養所東北新生園でも競技を楽しんでもらおうと用具などを寄贈、指導、コート整備を行い施設内に愛好会が誕生するきっかけをつくった。そして施設内のチームを地域の大会、そして長年の隔離生活のため対人恐怖症をもっている入園者を県大会などへも参加するまでに支援を続けられた。さらにその後活動は、同施設と東北各地域の選手が多数親善参加する「高松宮記念杯」や「三笠宮寛仁親王妃杯」の開催へと続けられている。

推薦者／財団法人日本ゲートボール連合

なむむら とみこ
苗村 登美子

(68 歳／大阪府堺市)

知的障害と心臓の病気を持つ子の親として、その子を絶対に育てる、という気持ちから、昭和 53 年に障害者の働く場として、また自立に向けて楽しく生きていける場としての共同作業所を指導者 1 名、利用者 7 名で設立した。親なき後の暮らしも視野に 35 年にわたる施設の運営を続け、施設は現在生活介護、生活訓練、就労移行などを行う陶芸、織物、レストラン、喫茶などをスタッフ 32 名、利用者 62 名で運用する施設に拡大されている。

推薦者／井川 洋子

さくま やすこ
佐久間 容子

(56 歳／長崎県諫早市)

平成 3 年障害のある子どももない子どもも、ともに育ちあいたいと願い、保育士 3 人と数家族が自宅で「遊びの家」を障害の重い子どもたちと学童児が集う場所として始めた。以来 18 年間、民家を購入し、05 年 NPO「遊びの家共同保育園」に発展。運営費の捻出に苦労しながら、自然の中で自由に子育てをする無認可の保育園として、職員 15 名、園児 34 名、学童 14 名、卒園児 65 名で運営されている。

推薦者／特定非営利活動法人 遊びの家共同保育園

あいあい きょうしつ
教室

(京都府京都市)

目の不自由な修学前の子どもと親を支援する活動を始めてから、30 年を超え 300 人以上に利用されてきた。「自分の子どもが、どんなふうに見えないのか」深刻に悩む親たちの悩みに応えたり、目の不自由な子どもとは、楽器を使って体を動かし体の器官や名前を楽しく覚える歌を歌ったり、地域の保育園や学校などからの相談も含め活動を続けられている。

推薦者／社会福祉法人 京都ライトハウス

あらかき みつこ
新垣 光子

(65 歳／沖縄県那覇市)

昭和 60 年に長男が市内の中学校に入学したのを契機に PTA 生活指導部に所属し活動する中、様々な問題を抱えた生徒の多さに気づき、彼らに献身的に関わるようになった。公園やコンビニなどのたまり場を週 1 回夜回りし、生徒たちの悩みを聞き自宅に泊めてやり、ご主人と二人三脚で経営している会社に計 28 人を雇用し、会社に欠くことが出来ない従業員に育て上げるなどの活動を 24 年間に渡り続けられている。

推薦者／新里 恒彦

あおき ようこ
青木 陽子

(47 歳／埼玉県さいたま市)

自身も視覚障害者で、「教育によって得た知識を活かして、アジアの視覚障害者教育に貢献したい」との思いで、中国語を学び平成 6 年にアジア視覚障害者教育協会を設立した。中国天津市のアパートに視覚障害者を対象とする、中国の社会福祉を担う人材の養成するための日本語学校を開設した。以来 13 年間で卒業生、在校生 401 名、通信生 107 名、日本への留学生も派遣されている。

推薦者／岡田 信子

かわの くすみ
川野 楠己

(79 歳／神奈川県横浜市)

元 NHK のラジオディレクターとして、25 年間「盲人の時間」を通じ、日本の音楽、文化の担い手として努力する盲人の姿を伝えた。定年退職後は在職中に繋がりを持った視力障害者団体への援助、協力の他、昭和中期まで活躍していた瞽女の文化を記録、最後の瞽女と言われた故・小林ハル氏の CD 製作、また琵琶盲僧永田法順氏のもとに 25 年間通い、経典などを CD や DVD としていずれも自費で製作し、世の中に広めるなど、障害者の支援活動を続けられている。

推薦者／社団法人 温故学会、日本盲人社会福祉施設協議会

なんみん たす かい
難民を助ける会

(東京都品川区)

1979 年にインドシナ難民を支援する支援団体として設立された。その後国際的な NGO として、難民や避難民への支援のみならず、障害者支援、対人地雷廃絶、被害者支援など活動を 30 年にわたり続けられている。一方国内でも小中学校への出張授業や講演会などの啓発活動を展開されている。現在の会員数は約 1,400 名である。

推薦者／吹浦 忠正

とくでいひ えいりかつどうほうじん ききん
特定非営利活動法人 子供地球基金

(東京都渋谷区)

昭和 63 年に創立された NPO 法人で、戦争や災害、病気などが理由で支援を必要としている世界中の子どもたちを子どもたちの描いた絵を基にした基金により、20 年にわたり 30 を超える国々の子どもたちを物心両面から支えている。創立以来、多くの紛糾地域や災害地域に画材や絵本、衣料品などの寄付を続け東京に本部、7 カ国に支部を置きこの 6 年間で 7340 名が参加されている。

推薦者／宮崎 裕子

りん はーと はうらー
Reinhardt Howeler

(67 歳／アメリカ合衆国)

かわの かずお
河野 和男

(68 歳／大阪府茨木市)

国際熱帯農業研究センターが派遣した博士で、ハウラー氏は土壌改良、河野氏は品種改良の専門家である。センターはキャッサバというイモの木といわれるでんぷん作物が貧困農家の現金収入につながり生活レベルの向上につながるという可能性に着目。両氏はタイ、ベトナム、中国、インドネシアの 4 カ国を対象にキャッサバの普及活動を 25 年にわたり行い、現地の農民とともに栽培し、収穫をあげるなど支援活動を続けられている。

推薦者／萩原 康太郎

とくでいひ えいりかつどうほうじん
特定非営利活動法人 ミランクラブジャパン

(埼玉県さいたま市)

ネパールの恵まれない女の子の就学を支援する活動団体である。平成 2 年に第 1 号奨学生を決定し、就学支援活動を開始し、会員の会費を同国の銀行に預金し、金利を支援に充当している。20 年間の支援奨学生延 584 名、研修センター、学校、図書館、寄宿舎などの建設も行っている。「すべての女性に教育を」を目指して、女性の就学と自立支援、社会進出を願い活動を続けられている。現在、会員は 120 名である。

推薦者／篠原 栄蔵

そえだ ゆうきち
添田 裕吉

(88 歳／福岡県北九州市)

昭和 51 年、54 歳で会社を退職後自らの旧戦場であったフィリピンのルソン島での戦友の慰霊、収骨を始めた。その後戦記関係書、文献、比島全域の詳細な地図、資料を収集するなど、30 年間で訪比は 30 回、同島での日本軍戦没者の遺族案内 550 人、調査相談 1,000 件にわたる活動を続けられている。

推薦者／河村 俊郎

すどう あきこ
須藤 昭子

(82 歳／ハイチ共和国)

昭和 51 年から通算 20 年余り、ハイチ共和国に医師として派遣され、医療器具もなく設備の行き届かない重症の結核患者や貧困者を治療するより隔離するための名ばかりの病院を機能が果たされるように努め続けた。また、ハイチの食糧自給に繋がるよう農土の改良や植林、木炭づくりなど住民支援活動も続けられている。

推薦者／秋本 福子

なとり みわ
名取 美和

(63 歳／タイ王国)

タイ北部チェンマイに平成 11 年に開設された HIV に母子感染した孤児達が暮らす生活施設「バーンロムサイ」を運営されている。孤児院の子どもたち (30 名) は学校や幼稚園に通い、将来彼らが自立するのに備え、職業訓練の場も兼ねた縫製所やゲストハウスなども経営する一方でエイズ予防の啓発活動にも力を注がれている。

推薦者／麻生 賀津子

なかむら ひろこ
中村 寛子

(72 歳／コンゴ民主共和国)

カトリックのシスターで、海外で貧しい人々を助けるために志願し、昭和 53 年アンゴラに派遣された。子どもたちや女性に裁縫を教えた後、同 58 年に反政府軍に人質として捕らえられ、その後解放。同 62 年からザイル (現：コンゴ民主共和国) で肢体不自由児、知的障害児のための小学校や職業訓練所、平成 3 年からはキサングニの障害児施設で尽力するなど内戦や略奪の中でその国の人と一体になり、生死を共にすることを体現する活動を 30 年にわたり続けられている。

推薦者／海外邦人宣教師活動支援後援会

ぞ ま ほ ん
Zomahoun

(45 歳／東京都中野区)

西アフリカのベナン共和国出身で、日本へ留学中スカウトされタレント活動や出版などによる資金でベナンに平成 12 年から小学校 (6 校)、日本語学校 (1 校) を建設。また留学生も招致するなどベナンの子どもや若者を 10 年にわたり支援する活動を続けられている。

推薦者／特定非営利活動法人 IFE

とくいでいひ えいりかつどうほうじん
特定非営利活動法人

て かい
バングラデシュと手をつなぐ会 (福岡県福岡市)

平成元年に設立され、バングラデシュ北西部の医療のないカラムディ村で、現地の NGO と連携し医師による医療ボランティア活動を支援するとともに、小学校や母子保護センターの建設、奨学金制度を設けるなど保健医療や教育関係の支援を 20 年にわたり続けられている。現在、会員は 200 名程である。

推薦者／矢野 孝明

3. 特定分野の功績・日本財団賞 3 件 (2 名 1 団体)

「海の貢献賞」

- ・海の安全確保、環境保護、汚染防止等に尽くされた功績
- ・海に関わる産業分野において
 - 傑出した技能による同分野への貢献と技能の伝承に尽くされた功績
 - 優れた発明・考案・改良等により同分野の発展に尽くされた功績
- ・海に関わる文化の発展・保存・伝承等に貢献された功績

すずき きよし
鈴木 諭

(60 歳／香川県坂出市)

平成 5 年、川崎造船坂出工場で船用構造物のうち乗組員の居住に使用する区画を溶接している鉄板を接合し組み立て製品化する「居住区鉄工工事」を担当した。以来技術者として、鉄工工事の中の「歪取り」の作業に優れた技術を発揮し、作業手順をマニュアル化するなど 1 隻当り 1,200 時間必要とされていた時間を約 400 時間に短縮させるなど造船業界の発展に尽くされている。

推薦者／株式会社川崎造船 坂出工場

なおしま しょうぞう
直嶋 正三

(60 歳／岡山県美作市)

昭和 45 年（株）ショウエイに入社以来、船用エンジンの複雑なメカニズムの中で、吸気・圧縮・爆発・排気運動に欠かせない重要な部分となる「カム」の各製造工程に携わってきた。中でも「カム研磨」工程において 35 年以上にわたり鍛練を続け、その研磨技術は日本有数であるとの評価を得、国内外のディーゼルエンジンメーカーの大半に「船用カム」を提供するなど造船業界の発展に尽くされている。

推薦者／社団法人 日本船用工業会

とくていひ えいりかつどうほうじん はかた ゆめまつばら かい
特定非営利活動法人 はかた夢松原の会

(福岡県福岡市)

消えていく博多湾の松原を復活させようと昭和 62 年に女性を中心に結成され、20 年間に約三万四千本を植栽し見事に白砂青松を復活させた。その後平成 12 年に NPO 法人となり、松原の復元だけでなく、松原の管理、保全に関する研修事業、環境教育、学習など環境保全及び快適環境形成に関する事業、中国の黄土高原の緑化事業など幅広い活動を続けられている。現在の会員は、200 名程である。

推薦者／矢幡 久